

農業交流センター「くる・ネップ」

【Aゾーン=憩いの広場】

幸町線の西側を、緑を楽しむ空間にする計画です。

ゆったりとくつろげる空間を確保し、多くの樹種を配置し、四季を楽しむことができる緑の空間に位置づけます。

鉄道の歴史をしのぶことができるモニュメントなどの整備も予定しています。

【Bゾーン=にぎわい・交流の広場】

「くる・ネップ」北側の幸町線東側から銀河農園までのエリアを、子どもたちや家族連れなどが遊び、多くの町民の方が気軽に心地良く過ごすことができる空間にする予定です。

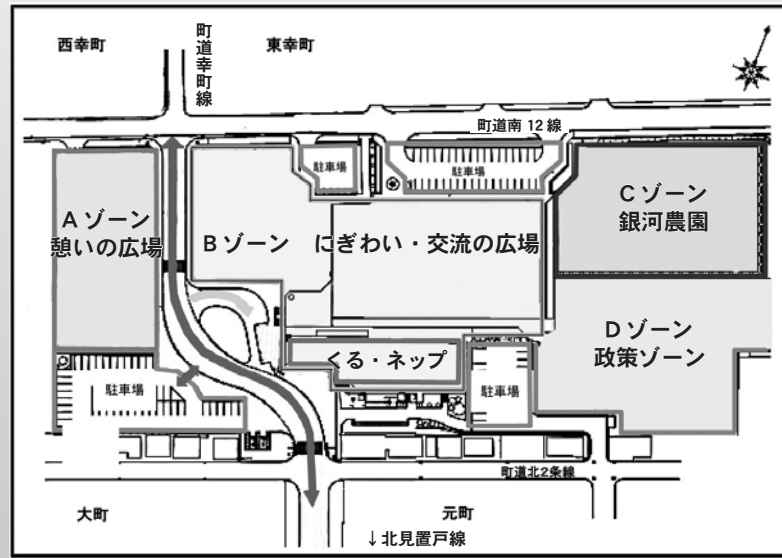
また、ホームも含めて、さまざまなイベントができる施設環境整備も行います。

【Cゾーン=銀河農園】

現行の銀河農園を継続し、農村の町らしく、農作物の栽培を楽しむ場とします。

【Dゾーン=政策ゾーン】

将来の周辺整備に備え、当面は美観を損ねないように維持管理を行っていきます。このゾーンには、ドクターヘリ用のヘリポートを整備する計画です。



周辺整備が進む 旧幸町線南北をつなぐ

旧幸町線南北をつなぐが完了

旧ふるさと銀河線訓子府駅舎を含む「農業交流センターくる・ネップ」の西側に、中心街を南北に縦断する幸町線が、昨年12月20日に開通しました。平成26年度には、銀河公園など旧駅北側の周辺整備を行う予定です。

平成18年のふるさと銀河線廃線以降、「くる・ネップ」周辺の整備について地域の要望なども踏まえ、検討してきました。

町では、平成24年度に「くる・ネップ」周辺環境整備マスタープラン「心地よさ・にぎわい・ふれあい・懐かしさを感じる空間」を策定し、平成25年度と26年度の2か年で整備を進めています。

第1弾として幸町線の延長工事が完了、開通しました。旧駅北の住宅街を通る幸町線（延長300m）をさらに延長し、南12線から銀河公園を通り、旧駅前の北2条線までの140mを整備して南北をつなぎ、「くる・ネップ」と幸町線との間にバスロータリーを設けました。

また、駐車場も拡張し、従来より8台分増えて48台の駐車が可能となりました。

26年度は公園の整備など予定

平成26年度は、「くる・ネップ」北側の幸町線を挟む東西のエリアを四つのゾーンに分けて整備します。

幸町線の開通で、市街地南北の一体化を図り、平成26年度の整備で「くる・ネップ」を中心とした市街地のにぎわい創出をめざしています。

